

11. 京都産業大学

| | | |
|-------|---|-----------|
| テーマ | ファシリテーションの DX ～作りながら考えるファシリテーションの可能性～ | |
| 発表代表者 | 澤 宏司:産業大学 教育支援研究開発センター事務室(F工房)嘱託職員 | |
| 連名発表者 | 大島 和美:京都産業大学 教育支援研究開発センター事務室(F工房)特定専門員 安達 晃輝:京都産業大学 情報理工学部 3年生 今村 涌亮:京都産業大学 法学部 3年生 貝増 祐斗:京都産業大学 経営学部 2年生 川上 雄大:京都産業大学 理学部 2年生 北浦 慶人:京都産業大学 文化学部 2年生 金城 昂汰:京都産業大学 情報理工学部 1年生 神谷 拓海:京都産業大学 経済学部 4年生 重野 聖空:京都産業大学 経済学部 4年生 田丸 遼人:京都産業大学 情報理工学部 3年生 櫻岡 翼:京都産業大学 文化学部 2年生 山下 達也:京都産業大学 情報理工学部 2年生 矢尾 衣織:京都産業大学 文化学部 2年生 | |
| キーワード | ファシリテーション | 学生ファシリテータ |
| | 授業支援 | DX |
| 発表の概要 | 京都産業大学 教育支援研究開発センター F 工房は、ファシリテーションを全学に広げるための拠点である。その F 工房の「学生ファシリテータ(学ファシ)」は、文・理の多様な学部から集まった、学生の主体的な学びを支援する学生ボランティアスタッフである。学ファシのチーム「FCDX」は、ファシリテーションにおける DX の可能性を模索すべく、2025 年夏から漸次的に組織された。現在は、リアルタイムの音声・画像認識による対話支援、近距離無線通信による入退室支援など、3~4 のプロジェクトが進行している。FCDX は技術開発のみが目標ではなく、その開発過程でのファシリテーション自体の洞察、また技術やプログラミングになじみが少ない学生のプログラミングへの啓発など、多様な波及効果が期待される。本報告では現在進行中のプロジェクトの状況を、その課題とともに具体的に示す。 | |